

住民の学びの場となり つみ重ねること20年 市民大学講座 — 記念懇談会開かれる —



発行所 飯田市竜丘公民館
編集人 竜丘公民館広報委員会
印刷所 龍共印刷株式会社
飯田市上郷黒田 ☎22-5353

人口 6,846人
男子 3,367人
女子 3,479人
世帯数 2,067戸
(11年3月末現在)

☆… 去る三月二十日、今年で二十年を迎えた市民大学講座の
☆… 「第二十回記念懇談会」が、「暑さ寒さも彼岸まで」の言
☆… 葉とは裏腹に、思わぬ吹雪の中を、約三十名の参加者に
☆… より開講されました。

竜丘市民大学講座は、昭和五十四年に第一回を開講して以来、毎年欠かさずことなく継続され、実に七十三講座に及んでいます。また中心テーマを、「竜丘」として、地域の歴史、民俗、地理、自然、文化等の様々な分野から学習内容を編成していることは、本講座の特徴としてあげられます。

さて、記念懇談会では、発足当時に公民館長を勤めておられた中田美穂さん(桐林)が、「講座発足当時の願いと竜丘の文化性」と題して講演されました。中田さんは開口一番に、「この講座が二十年続いた事への驚きの気持ちをおぼえ、当時の思いを語られました。昭和五十一年の公民館新築が転機となり活動が盛ん



なっていました。多様な住民ニーズに対応可能となったため、育成事業により三味線、詩吟などのグループが誕生、続いて柔道、卓球などの各種クラブが発足された。この頃から年々増加する公民館費を公費のみで補いきれず、幾多の批判を受けながらも、地区民に館費の一部を負担してもらうに至った苦労を話されました。現在の活発な公民館活動の原点がそこにある様に感じられました。

市民大学設立の切っ掛けとなったのは、文化祭、運動会、セミナーなどを通じて、地区全体に学習意欲が醸成されてきた事に加え、官民挙げて「地方の時代」と呼ばれ、新しい時代への対応を模索する中から、我が故郷の文化や歴史を掘り

文化委員長として、講座発足にたずさわった今村文一さん(桐林)は、第一回の時に手作りチラシを配り、特別に参加動員もなかったところが、八十名の参加があり、その場で追加資料を印刷した思い出を、笑顔で話されました。

山浦正芳小学校長は、佐久から初めて竜丘に来て、この地を知ろうと公民館や育成会に参加したり、地域の情報として館報の学校への配布を申し入れた事を話し、理想は、地域と連携した教育だと訴えられました。

前長野原分館主事の池田啓三さんは、分館活動のない地区に住んでいた事から、その重要性を感じる中、夏祭り、文化祭が各種団体の協力により成功に至った経過や、小学生の作文を分館報に載せるなど、幅広い年齢層の人たちが力を合わせ、活動を行ってきたと報告されました。

前本館主事の伊藤康弘さんは、同じ事業の中でも、その時々皆に興味を示すテーマや方法に変える事が大切だと、市民大学に映画や交流会を取り入れた思いを語られました。意見交換のあと館長が、百分の時間が貴重な時間であったことと、パネラーと講演者へのお礼を閉講となりました。最後に、この講座からは、

二十五年目を迎える 「竜丘公民館コーラス」

竜丘には発足以前に、混成四部合唱のグループがあり、その会員であった佐藤信子さんが発起人となり、昭和五十年から始まった「竜丘公民館コーラス」も四月二十五周年を迎え、その会員や地区へも呼び掛け、昭和五十年四月「竜丘公民館コーラス」が発足しました。当時公民館も改築中で練習の場所を捜していたところ、時又保育園の一室を貸していただける事になり、男性を含む二十三名での活動が始まりました。

当初の指導者には、佐藤さんも教諭をされていた事や会員の熱意も加わって、当時下伊那農業高校の佐々木(柄沢)先生にお願いし、成り、その会員であった佐藤信子さんが発起人となり、昭和五十年から始まった「竜丘公民館コーラス」も四月二十五周年を迎え、その会員や地区へも呼び掛け、昭和五十年四月「竜丘公民館コーラス」が発足しました。当時公民館も改築中で練習の場所を捜していたところ、時又保育園の一室を貸していただける事になり、男性を含む二十三名での活動が始まりました。

「古墳を考ふる会」「虫に学ぶ地域環境講座」などが独立した活動となっています。折しも、新公民館建設が具

体化する中で、その拠点となる公民館の重要性を改めて感じました。

新しい事業の発足と継続ができ、一年を振り返ってひとえに皆様のお力添えとご指導の賜物であると感謝し、ここにお礼申し上げます。

今年度の文化事業は、発足と検証の一年でありました。数年來懸案となっていた中国帰国者支援活動が、「好友会」として発足し、

交流会や日本語教室が開催される運びとなりました。このことは、地域の中で人々の接点になり得る事ができたと感じています。これが長く続けられたいと思います。

もう一つは、今年の市民大学講座が発足より二十周年で、記念懇談会を開催しました。発足当時の想いやエピソードを伺い、シンポジウムでは講座に対する貴重なご意見やご指導をいただき、大きく期待されていることを知りました。これを機に更なる発展と、より一層の充実

を図りたいと思いました。

新しい事業の発足と継続ができ、一年を振り返ってひとえに皆様のお力添えとご指導の賜物であると感謝し、ここにお礼申し上げます。



最近世の中大変便利になり、あらゆる事がスピードアップしています。その中で日本人が忘れてきているものにマナー、とかモラル、とかルールなどが上げられると思います。これらのものは別に強制力がある訳でも、拘束力がある訳でもありません。しかしこれらがなくなると大変無秩序な、殺伐とした世の中になってしまうのではないのでしょうか。

今自分の価値観で行動し、他人を思いやる事を忘れた人が増えているような気がします。

今一番問題視されているのが、急速に広がっている携帯電話に関する事柄です。かく言う私も携帯電話の恩恵にあずかっているのですが、使い方が個人個人としての常識が問われます。まず使って良い場所、悪い場所をきちんと守ることがです。これについては法律がまだ無いので、個人のマナーの問題です。

これはかける側と受ける側に分かれますが、まず受ける側が一番問題です。携帯電話の急速な普及に比例して迷惑をこうむるケースが増えています。またその行為事態が他人に迷惑をかけているという自覚が無い人が増えていると思います。

またかける側も相手はどういう状況にいるかという理解が必要です。何時でもかかるという思い違いをしているケースが多いでしょう。相手が運転中だったり、電車の中だったり、けっしていつでも出られる状態に無い事はまあある事です。早急に仲間内や、職場内などでルール作りをして有意義に使いたしましょう。

一年間を振り返って 文化・体育委員会

文化委員会は、発足と検証の一年でありました。数年來懸案となっていた中国帰国者支援活動が、「好友会」として発足し、

交流会や日本語教室が開催される運びとなりました。このことは、地域の中で人々の接点になり得る事ができたと感じています。これが長く続けられたいと思います。

もう一つは、今年の市民大学講座が発足より二十周年で、記念懇談会を開催しました。発足当時の想いやエピソードを伺い、シンポジウムでは講座に対する貴重なご意見やご指導をいただき、大きく期待されていることを知りました。これを機に更なる発展と、より一層の充実

体育委員会

今年度の文化事業は、発足と検証の一年でありました。数年來懸案となっていた中国帰国者支援活動が、「好友会」として発足し、

交流会や日本語教室が開催される運びとなりました。このことは、地域の中で人々の接点になり得る事ができたと感じています。これが長く続けられたいと思います。

もう一つは、今年の市民大学講座が発足より二十周年で、記念懇談会を開催しました。発足当時の想いやエピソードを伺い、シンポジウムでは講座に対する貴重なご意見やご指導をいただき、大きく期待されていることを知りました。これを機に更なる発展と、より一層の充実



今年度の文化事業は、発足と検証の一年でありました。数年來懸案となっていた中国帰国者支援活動が、「好友会」として発足し、

交流会や日本語教室が開催される運びとなりました。このことは、地域の中で人々の接点になり得る事ができたと感じています。これが長く続けられたいと思います。

もう一つは、今年の市民大学講座が発足より二十周年で、記念懇談会を開催しました。発足当時の想いやエピソードを伺い、シンポジウムでは講座に対する貴重なご意見やご指導をいただき、大きく期待されていることを知りました。これを機に更なる発展と、より一層の充実

竜丘地区整備構想発表される

◆天竜川治水対策事業終了後の竜丘地区を
◆どのように整備するか、天竜峡エコバレー
◆プロジェクトのタタキ台（試案）が発表
◆されました。

今回発表された整備計画のタタキ台は、自治会と飯田市が協議を重ねて策定したもので、治水の盛土地区と土取場の将来計画を含む竜丘全体の整備計画の試案として発表されたものです。

整備計画の概要

具体的な内容を挙げてみます。順不同ですが、以前から話題があった白井原地区は「白井原産業振興地域」と位置付けられ、農業と工業が融合した産業地域として整備するとされています。また、桐林土取場は「環境産業公園」と位置付けられ、人と自然と産業の融合を目指した地域として整備していくとされています。この地区は特に細かい計画があり、リサイクル関連企業や植物工場の誘致、環境交流センター（環境関連産業の創造や支援、また、自然環境について学習、交流することができ施設）の建設



などが記載されています。さらに、盛土地域は「環境共生住宅地域」と位置付

けられ、環境共生住宅（太陽光発電施設などを備え、自然環境に配慮した住宅の）を意味すると思われる（す）や、市民農園、広場、コミュニティ施設などを景観も美しく環境や生態系にも配慮して整備するとされています。

この他、光植物栽培実験施設の建設や、親水河川整備、古墳周辺の整備、新公民館の建設などが記載されています。

先に記載した「環境産業公園」内の施設で利用するほか、発電にも利用する予定です。

各地区で説明会
地区説明会は一月二十八日から現在まで、二十回ほど開催されています。桐林では各常会単位、他の地区では区単位で開催され、約五百人の方が出席されたとのこと。ただ、回覧が回ってからの開催日までの期間が短く、出席できなかったという声もあります。市と自治会では、希望があれば、各種団体やグループ単位でも説明会を開催する用意があるとのこと。

竜丘の将来のため、積極的にこの試案を検討してみたいかがでしょうか。

また、新天竜川治水対策事業終了後の竜丘地区は、環境共生住宅（太陽光発電施設などを備え、自然環境に配慮した住宅の）を意味すると思われる（す）や、市民農園、広場、コミュニティ施設などを景観も美しく環境や生態系にも配慮して整備するとされています。

『日本語教室』大盛況 好友会

いよいよ友好会「日本語教室」が三月から始まりま

した。参加者は会を重ねるごと、口込みによりだんだん増え、子供から年配の方まで幅広い年齢層で、現在二十七名程集まっています。

教室は初級・中級に分かれ、初級は榎野武司先生、中級は熊谷恵理湖先生が自らその役をかって出て教えて下さっています。その熱心な姿勢と、参加者の皆さんの真剣な表情の中にも笑

いがこぼれる和やかな教室が開かれています。

一カ月が過ぎ九回を教える日本語教室。中級クラスの方からは「実際に生活の中で使う言葉を教えてほしい」という要望も。「言葉が使えないと心も伝わらない」と、暮らしの中で地域の人達と早く馴染みたいと思いが伝わってきました。

これらのニーズに応えるにはもっと多くの方の協力的な姿勢と、参加者の皆さんの真剣な表情の中にも笑



この教室から友好会の目的でもある、私たちと中国の中で交流が広がっていくことを望みます。

満員御礼

親子スキーツアー

昨年大好評だった「親子スキーツアー」が、今年も二月十三日、エコバレースキー場で行われました。今年度は、昨年以上の申し込みがあり、バス三台、参加者は百二十二名。当日は真冬日にもかかわらず、親子で楽しむ触れ合いの一日でした。

親子スキーツアーに参加して

岡村 巧

去る二月十三日、親子スキーツアーに子供二人と参加しました。「今年は連れてってやるぞな。」と約束していたのですが、バス二台の募集はすぐ満員となり、急遽もう一台増やしていただけで参加する事が出来ませんでした。

目的地「エコバレースキー場」到着。子供達もスキーを始めて四、五年経つ

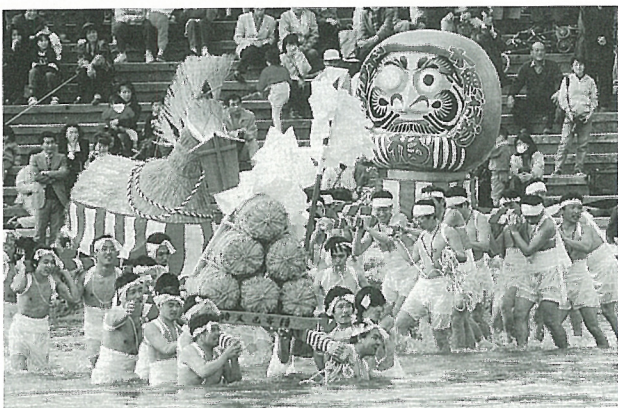
春を呼ぶ祭り 時又初午はだか祭り 賑わう

去る三月十四日、伊那谷へ春を告げる、「時又初午はだか祭り」が行なわれました。

春一番の祭りとして年々多くのアマチュアカメラマンや、観客が県内外から訪れ、マスコミからも大きく取り上げられるようになりました。

メイン会場となる天龍川も年々様相を変え、河床が低下し、天龍橋下では大きな岩が露出し、危険が伴うとの判断から、時又港で行うことに決まりました。

この祭りは、地区民が手作りで取り組むことが伝統で、準備から始まり片付けまで、実行委員会をはじめとして保存会が一つ一つ積み上げてきました。しかし時代の流れでしょうか、年々かき手が少なくなり、時



冬季スポーツ大会 熱戦を展開

去る二月七日、小学校体育館に於いて「竜丘地区ソフバレーボール大会」が開催されました。

当日は、真冬の寒さにもかかわらず、早朝から始まった試合では、各会場とも、日頃の運動不足の解消にと、随所に、好プレー、ハッスル

う少し上へ行きました。約四時間すべったけれど、時間が短く感じられました。4時。「もう帰るのー。」と思ってしまうました。すぐおもしろくて、楽しかったです。

しかし、ママさんバレーの部では、竜丘代表で出場した駄科チームが、上久堅と下久堅を圧倒的な強さで破り、見事に優勝をかざりました。